

麗一の葉や茎に種火を起こし「広野の火」として採火し、「浜通りの火」の採火式が行われ、Jヴィレッジへ送りまし

8月19日、内堀雅雄県知事が来庁され、新型コロナウイルス感染症対策、IGCC竣工に向けた現況など意見交換した後、二ツ沼総合公園におきまして、東京大学との協定により飼育することとなり、視察されました。がん治療や新型コロナウイルス検査薬の開発・研究の一端を担う取り組みであることを説明し、知事からは「被災地における重要な活動」との評価を頂きまし

8月28日、第23回廃炉・汚染水・処理水対策福島評議会がリモート方式で開催され、江島潔経済産業副大臣を議長に、鈴木正見福島県副知事、被災12市町村の首長、いわき市長、県商工会、県農協協同組合、県漁業協同組合などの関係者をインターネット回線で繋ぎ、町は、全員協議会室

気象業務の発展に寄与したことに、気象庁長官表彰を受けました。平成2年3月から観測所の管理について気象庁から委託を受け、観測環境の維持に協力し取り組んでい

6月16日、7月14日、8月4日、広野町安心・安全ネットワーク会議立哨活動を国道6号役場前交差点等で実施し、ドライバーに安全運転への注意喚起を促しました。7月14日、広野町安心・安全ネットワーク会議を開催し、交通事故防止対策、熱中症予防及びゴミの出し方等のマナーについて会員企業に協力を求め

7月12日、午後1時2分、大雨警報が発表され、土砂災害等に備え警戒配備体制を敷き、夜間を通して気象情報の収集、関係機関との連携、対応に取り組みしました。同日、午後9時40分、大雨警報が解除され警戒配備体制を解除しました。この大雨による被害はありませんでした。

7月26日から28日にかけて、台風8号の接近に伴い警戒配備体制を敷き、夜間を通して気象情報の収集、関係機関との連携、対応に取り組みしました。27日、午後7時37分に大

会場に評議会に参加いたしました。ALPS処理水の海洋放出について議論が交わされ、参加者からは風評被害を起さないこと、IAEAなどの国際機関によるチェック体制の強化と的確な情報の発信、風評が発生した時の賠償を国・東京電力ホールディングスの責任において、確実に取り組むことを求めました。

健康福祉課

7月6日から10日までの5日間、3密を防ぐために総合検診会場を町中央体育館とし、新型コロナウイルス感染症対策を万全に講じ、総合検診を実施しました。国保特定健康診査429人、後期高齢者健康診査208人、社保被扶養者特定健康診査60人、その他の検診9人、合計706人が受診しました。8月29日、受診率の向上を図るため、国保特定健康診査の未受診者に対し、受診勧奨通知を行い、108名が受診しました。検診結果につきましては、9月6日から10日までの期間において、福島県立医大の支援の下、保健センターにおいて、生活習慣病予防と重症化予防

雨警報が発表され、災害対策本部を設置し、「高齢者等避難」を発令しました。住民の安全を確保するため、避難所を公民館と広桜荘に開設し、避難所には2世帯3名の方が避難されました。28日、午前5時27分、大雨警報の解除に伴い、避難所を閉鎖しました。この台風による、被害はありませんでした。

8月13日、午後9時12分に大雨警報が発表され、土砂災害等に備え警戒配備体制を敷き、夜間を通して気象情報の収集、関係機関との連携、対応に取り組みしました。15日、午後8時49分、大雨警報が解除され警戒配備体制を解除しました。この大雨による被害はありませんでした。

8月16日、町内の河川と海岸の環境保全のため、盆送り供物の回収を行いました。役場敷地内に焼香台と供物台を設置し、早朝より多くの方々にご利用いただき、供物を約800個回収しました。同日、3年ごとに消防団と

共催で開催している広野町殉職消防団員並びに殉職巡査慰霊祭を新型コロナウイルス感染症対策を講じ、議会議長、副議長ご参列のもと、修行院にて執り行いました。

を念頭に、「検診結果説明会」を開催しました。

女性特有の疾病である「乳がん・子宮がん」の早期発見・早期治療を図るため、7月1日から10月31日の期間、乳がん検診・子宮頸がん検診について検診日・検診場所を設定し、広野町保健センター又はいわき市の医療機関において実施しております。

9月8日、議長・副議長のご臨席のもと、地区別の代表者のみの出席により規模を縮小し、令和3年度広野町敬老会を町中央体育館において開催し、65歳以上、1096名のお祝いと結婚50周年を迎えられた8組のご夫妻へ福島民報社とともに金婚夫婦表彰を行い、最高齢者および満85歳以上の高齢者に対して記念品



敬老会



広野町殉職消防団員並びに殉職巡査慰霊祭

8月17日、午後8時55分に大雨警報が発表され、土砂災害等に備え警戒配備体制を敷き、夜間を通して気象情報の収集、関係機関との連携、対応に取り組みしました。18日、午前7時33分、大雨警報が解除され警戒配備体制を解除しました。この大雨による被害はありませんでした。

産業振興課

令和3年産米の取組み状況につきましては、作付された水田の全筆調査を行い、農家戸数95戸、作付面積174ヘクタールを確認しました。

6月15日と7月12日、JA福島さくらふたば地区本部が主体となり「あぜ道指導会」

の贈呈を行いました。9月11日、新型コロナウイルスワクチン接種機会を確保し、ワクチン接種率を高めるため、未接種者に対し2回のワクチン接種勧奨通知を行い、約530人規模のワクチン集団接種を広野町保健センターで行いました。

こども家庭課

7月21日、児童館において夏祭りを実施しました。浴衣や甚平を着た児童たちは、友だちと一緒に輪投げやヨーヨーすくいなどを行い、夏祭りを楽しみました。

7月29日、東京2020オリンピック・パラリンピック応援プロジェクトの一環として、こども園、児童館において、テレビの前でオリンピック選手の応援を行いました。児童たちは、双葉郡ゆかりの選手の活躍に、小旗を振りながら声援を送りました。

8月24日、広野中学校剣道部が全国大会に出場したことを祝し、こども園の園児が、手作りの金メダルを選手に贈呈しました。メダルには、園児が書いた「おめでとう」の言葉と、似顔絵が描かれており、選手は園児のサプライズ

を実施いたしました。延べ63人の参加者に、水稻栽培管理、病害虫防除対策などの説明があり、参加者は水稻栽培、病害虫防除について対策を学び対応に当たりました。

新型コロナウイルス感染症により売上が落ち込み厳しい経営を余儀なくされている町内の中小企業者等の事業継続支援を目的とした「広野町新型コロナウイルス対策中小企業者等支援事業補助金」の9月3日現在の実績につきましては、補助対象事業所数198件に対し、交付決定事業所数は5件、補助金の交付額は106万1072円となっています。補助金の申請受付は、商工会館において9月30日まで行っています。



プレミアム商品券販売会



こども園児から広野中学校剣道部のみなさんへ金メダル贈呈

に感動していました。9月1日現在、こども園、児童館の在籍者は、こども園89人、児童館72人となっています。

環境防災課

6月12日、除染廃棄物仮置場の原形復旧を除染対策費補助金を活用し工事に着手しました。仮置場2号基から6号基、調整池、沈砂池を埋め戻し原形復旧するものであり、現在、工事行程は順調に進捗しています。令和4年6月完了予定です。

6月16日、町内の下北迫字大谷地原地内に設置されている地域気象観測システム「アマダス」の委託観測業務に長年にわたり献身的に協力し、

7月17日、18日の両日、広野町中央体育館において、福島県事業再開・帰還促進事業を活用し、町民の帰還促進と町内事業者の支援を目的とした「プレミアム付ひろの商品券」の特設販売会を開催いたしました。7月19日から12月28日までは、広野町商工会館において販売しています。9月3日現在、11069セット、額面にして1億6603万5000円分の商品券を販売しました。

県内及びいわき市の新型コロナウイルス感染症が拡大する状況により、8月2日から実施した「広野町新型コロナウイルス感染症集中対策」を踏まえ、8月8日開催予定の「広野町サマーフェスティバル2021 ドライブイン花火」は順延といたしました。

建設課

6月から8月にかけては、令和元年の台風19号及び21号に伴う豪雨により発生した被災箇所を災害復旧に重点を置き取り組みました。災害復旧工事の進捗については、国・県と連携のもと、事業者、関係機関の協力により全体の約9割の箇所について復旧が完